

## 【JICA九州 図書室】 開発教育教材リスト

登録番号	タイトル	発行元 出版年	概要	教材のタイプ
015008	ワークショップ版 世界がもし100人の村だったら [第6版]	開発教育協会(DEAR) 2020	世界を人口100人のひとつの村に例えて世界の現状を描いた『世界がもし100人の村だったら』をもとに、実際に身体を使いながら世界の多様性や格差を理解することができます。冊子には、ワークショップの進め方、その後の展開の方法のほか、ワークショップに使用する「役割カード」、『世界がもし100人の村だったら』のメッセージなどが収められています。	冊子
015220	新版 シミュレーション教材「ひょうたん島問題」 多文化共生社会ニッポンの学習課題	明石書店 2021	「ひょうたん島」という架空の島に他の島からの移民や労働者がやってきたことで生じた、さまざまな社会問題。その状況設定のもと、多文化共生社会におけるマジョリティとマイノリティ、それぞれの立場でロールプレイすることで、課題の解決に向け参加者が共に考えていくシミュレーション教材です。YouTubeで視聴できる動画やダウンロード可能なスライド用画像を用意し、オンライン授業にも対応。	テキスト
014189	豊かさとは何か - Development for the Future	開発教育協会(DEAR) 2016	「豊かさ」や社会、「開発」のありかたについて、さまざまな角度から考える力を身につけ、他者と協働しながら「豊かな社会」をつくっていくための学びを重ねることを目的とした教材。「参加型」の手法を用いたアクティビティを提案する「アクティビティ編」と、掲載アクティビティの実践事例を掲載した「実践事例編」の2部構成となっています。	冊子、CD
010945	援助するまえに考えよう 参加型開発とPLAがわかる本 国際協力の募金に寄付したあなた・海外でボランティアがしたいあなた	開発教育協会(DEAR) 2006	第1部では、トレッキングで北タイを訪問した「アイ子」の行動を通して、援助と国際協力の意味やありかたを参加型で学び、考えていきます。第2部では、参加型開発とその手法のひとつであるPLA（参加型学習行動法）が紹介されており、実際に体験することもできます。目的に応じて部分的な利用も可能。国際協力やボランティア活動に関心のある方に、また学校や地域の活動などにも最適です。	冊子
014069	18歳選挙権と市民教育ハンドブック	開発教育協会(DEAR) 2016	公職選挙法の改正により、2016年の参議院総選挙から選挙権年齢が18歳に引き下げられることになりました。本書は、グローバル化社会において若者たちの積極的な社会参加を促す市民教育のための手引書。「理論編」と「実践編」の2部構成となっており、「実践編」では参加体験型学習の具体的な教材や実践例が紹介されています。	冊子
013511	若者と学ぶESD・市民教育 グローバル社会に生きる私たち	開発教育協会(DEAR) 2014	自分の将来を真剣に考える時期にある中学生からおおむね30歳以下の若者のための、「開発教育」と「キャリア教育」を融合させたワークショップ教材です。「自分」とは何なのか、また「自分」と「社会」のつながりに気づき、考えることをねらいとした11のプログラムにより構成されており、必要に応じて単独あるいは組み合わせでも使用できます。	冊子

## 【JICA九州 図書室】 開発教育教材リスト

登録番号	タイトル	発行元 出版年	概要	教材のタイプ
014670	開発教育基本アクティビティ集1 世界とのつながり	開発教育協会(DEAR) 2017	開発教育のシンプルで基本的なアクティビティを紹介した教材集です。準備が簡単で、所要時間は20～45分程度、その後さまざまなテーマにつなげて展開や応用がしやすい4つのアクティビティを掲載。「多様性」を尊重する価値観を育み「世界とわたしたちのつながり」を学ぶための素地をつくるのがねらいとされています。対象年齢の目安は小学校中学年以上。	冊子
015009	開発教育基本アクティビティ集2 難民	開発教育協会(DEAR) 2019	開発教育のシンプルで基本的なアクティビティを紹介した教材集です。準備が簡単で、所要時間は45分程度、その後さまざまなテーマにつなげて展開や応用がしやすい4つのアクティビティを掲載。「難民」をテーマに一人ひとりが問題に向き合い、公正で持続可能な社会のあり方を考えるのがねらいとされています。対象年齢の目安は中学生以上。	冊子
015010	開発教育アクティビティ集3 気候変動	開発教育協会(DEAR) 2020	開発教育のシンプルで基本的なアクティビティを紹介した教材集です。準備が簡単で、所要時間は45分程度、その後さまざまなテーマにつなげて展開や応用がしやすい4つのアクティビティを掲載。「気候変動」をテーマに一人ひとりが問題に向き合い、公正で持続可能な社会のあり方を考えるのがねらいとされています。対象年齢の目安は中学生以上。	冊子
015234	開発教育アクティビティ集4 プラスチックごみ	開発教育協会(DEAR) 2020	開発教育のシンプルで基本的なアクティビティを紹介した教材集です。準備が簡単で、所要時間は45分程度、その後さまざまなテーマにつなげて展開や応用がしやすい6つのアクティビティを掲載。「プラスチックごみ」をテーマに一人ひとりが問題に向き合い、公正で持続可能な社会のあり方を考えるのがねらいとされています。対象年齢の目安は小学校高学年以上。	冊子
014671	スマホから考える世界・わたし・SDGs	開発教育協会(DEAR) 2018	世界各地で普及し、大量生産されているスマートフォン（スマホ）。一方、原料の調達地や生産地では、労働問題、人権問題、環境問題など、さまざまな問題が起こっています。「スマホ」を題材に私たちが日頃使っている工業製品の生産工程を知り、グローバル経済のしくみとそこから派生しSDGs（持続可能な開発目標）にも関連する社会問題が自分とつながっていることを理解したうえで、責任ある消費者として、また市民としての意識を高めることを目的とした教材です。対象年齢の目安は中学生以上。	冊子
011955	身近なことから世界と私を考える授業 100円ショップ・コンビニ・牛肉・野宿問題	明石書店 2009	当初は南北問題など海外のことをテーマとしていた開発教育が、「足もと」である日本社会の「南的」な課題に迫ります。「なんでも?!100円ショップ-100円ショップから世界を考える」、「コンビニから考える私たちの暮らし-便利さの背景にあるもの」、「いのちの食べ方を問う-食卓の牛肉から見える世界」、「"ホームレス"ってどんなひと?—一緒に考えよう!野宿問題」の4つのテーマを扱った教材集です。	書籍

## 【JICA九州 図書室】 開発教育教材リスト

登録番号	タイトル	発行元 出版年	概要	教材のタイプ
014068	フード・マイレージ どこからくる？私たちの食べ物 [第2版]	開発教育協会(DEAR) 2016	「自給率を知ろう」と「フードマイレージ」の2つの参加型アクティビティ(「自給率を知ろう」の実施には、「写真で学ぼう！地球の食卓」基本セットの写真が必要です)。戦後、日本の食と農のあり方に影響を与えた主な出来事を取り上げ、環境負荷の問題、グローバル化や近代化の功罪、飢餓問題との関連など、広い視野で食のあり方をとらえることを目的としています。	冊子
011258	お弁当屋さんゲーム 食のグローバル化を考える	開発教育協会(DEAR) 2007	グローバル化が進む中、輸入農産物や外国製品への依存が高まる私たちの「食」も、様々な世界の出来事と影響しあっています。例えば、外国で洪水や干ばつが起こったら、ある国の食料事情が変わったら、私たちの食生活には何が起きるのでしょうか？お弁当屋さんを経営するゲームを通じて、現在の「食」をめぐる多くの問題に気づき、私たちがどのような「食」を選択するのかを考える食育教材です。	冊子
012042	新・貿易ゲーム [改訂版] 経済のグローバル化を考える	開発教育協会(DEAR), 神奈川県国際交流協会 2009	「貿易」を中心とした世界経済の基本的な仕組みを理解し、そこに存在する南北格差や環境問題などのさまざまな問題の解決に向けて考えることをねらいとしたシミュレーションゲーム。国際社会の課題と「公正な社会」の可能性、また国際協力のありかたや私たち一人ひとりの行動について考えるきっかけになります。	冊子
015233	コーヒーカップの向こう側 [2021年改訂版]	開発教育協会(DEAR) 2021	世界中の人々に愛飲されているコーヒー。どのように生産され、私たちの手元へ届けられるのでしょうか？また、生産者の人々はどのような暮らしをしているのでしょうか？身近なコーヒーを例に、生産国である途上国の現状と流通のしくみを理解し、世界貿易の問題点を把握したうえで「いい貿易」について話し合い、私たちにできることを考えていきます。フェアトレードを知るきっかけにも。	冊子
014135	コーヒーモノガタリ	アフリカ理解プロジェクト 2012	身近なコーヒーを通して世界と自分のつながりに気づき、新しいつながり方を考えることをテーマとした参加型学習教材。豊富な写真と解説で、アフリカ(エチオピアやタンザニア)の豊かな文化、課題と可能性、コーヒーをめぐる人びとの暮らし、フェアトレードなどについて学びながら、課題解決のために私たちがとるべき行動を考えていきます。	冊子、 写真資料
013675	チョコっと世界をのぞいてみよう！	ACE 2014	チョコレートからアフリカの文化、さらには児童労働などの社会課題を学び、実際にチョコレートを消費する立場として私たちに何ができるかを考え、行動することを目指すワークショップ教材。カカオの生産からチョコレートの製造・消費までを通して、アフリカ経済の仕組み、また消費者や企業の責任について学べる8つのワークで構成されています。	冊子、カルタ、 写真

## 【JICA九州 図書室】 開発教育教材リスト

登録番号	タイトル	発行元 出版年	概要	教材のタイプ
012767	おいしいチョコレートの真実 ～働く子どもたちとわたしたちとのつながり～	ACE  2008	チョコレートを通じて、原料であるカカオの生産地での児童労働や、それが私たちの暮らしとどのようにつながっているかを学んだうえで、問題の背景にあるグローバリゼーションや世界貿易の課題について考えます。子どもたちを児童労働から守るための行動を起こしてもらうことを目的にしたワークショップ教材です。	冊子、カード、 DVD
013570	パーム油のはなし [改訂版] 「地球にやさしい」ってなんだろう？	開発教育協会(DEAR)  2014	ポテトチップスやチョコレート、カップラーメン、アイスクリームなどに使われているパーム油。日本では「地球にやさしい」として洗剤などにも使用されていますが、そのイメージは本当に正しいのでしょうか？パーム油の生産国で起こっているさまざまな問題を知り、私たちの消費社会とのつながりを理解し、さらに問題の解決に向けて何ができるかを考えていくことをねらいとした教材です。	冊子、写真、 紙芝居、 すごろく
012041	マジカルバナナV3	地球の木  2010	バナナが安価で売られているのはなぜでしょう？「マジカルバナナ」は、身近なバナナを通じて南の国々の生産者の生活やグローバルな経済・流通の仕組みを知ったうえで、私たちの消費活動と生産者の人々の暮らしを結びつけて考える参加型学習教材。手引き、ミニお芝居の台本、カードゲーム、資料写真5枚、付録「もっと知りたいバナナのはなし」のセットです。ワークショップに利用できる資料写真が収められた補助教材CD付き。	冊子、写真、 カード+補助教材 CD-ROM(写真)
013757	このTシャツはどこからくるの？ — ファッションの裏側にある児童労働の真実 —	ACE  2015	日本の子どもや若者、消費者、企業などが、身近なコットン製品を通じて「インドのコットン生産現場の児童労働」について考え、問題解決への行動を起こすきっかけをつくることを目的としたワークショップ教材です。消費者や企業がそれぞれの立場から取り組むことができる、インドの児童労働や貧困の解消、さらには持続可能な社会の実現に向けた行動を促します。	冊子、DVD
015028	Hunger Map ハンガーマップ	国連世界食糧計画  2019	世界の飢餓状況を栄養不足人口の割合により国ごとに5段階で色分けして表した、A1サイズ(約84cm×約60cm)の1枚地図です。	地図
012045	写真で学ぼう！ 地球の食卓 学習プラン10	開発教育協会(DEAR)  2010	世界24カ国30家族を訪問し、それぞれの家族と、家族の1週間分の食料を一緒に撮影した写真集『地球の食卓—世界24か国の家族のごはん』(TOTOT出版)。世界の多様性を描写するとともに、食にまつわる諸問題を議論する糸口ともなるこの写真集に収録されている写真を活用したワークショップ用教材です。B4サイズのカラー写真39枚と、10の学習プランを収めた冊子のセット。	冊子、写真

## 【JICA九州 図書室】 開発教育教材リスト

登録番号	タイトル	発行元 出版年	概要	教材のタイプ
011259	たずねてみよう！カレーの世界 [改訂版] ～スパイスと食文化の多様性～	開発教育協会(DEAR) 2003	私たちにとって身近なカレーを通して世界の食文化の多様性を知ることがをねらいとした教材。アジア各地のカレーに使われるさまざまなスパイスやその効用を知り、実際に作って食べてみることで、その土地の食文化を理解・体感できます。調理実習の方法についても解説。カレーについて考え、多様性への気づきを得ることは、私たちが日常の「食」を見つめ直すきっかけにもなります。	冊子
013255	国際教育教材「言葉がわからない」体験ゲーム 何が起こった？ (震災編)	国際教育研究会 Glocal net Shiga 2011	「最近、家族と一緒にいる国に引っ越してきたばかりの子どもが突然の地震に遭遇!?安心して安全に避難することができるのでしょうか…?」という設定のシミュレーションゲーム。付属CDに収録されている動画に沿って、活動していきます。言葉がわからないことから生じる不安な気持ち―。このワークショップを通して得た体験もとに、全ての人にとって過ごしやすい「多文化共生社会」をつくるために、自分たちでできることを主体的に考え、実行するためのきっかけを得ることをねらいとする教材です。	冊子、CD-ROM、 ポスター
011946	多文化共生理解ワークショップ 災害発生！ことばがわからない―もうひとつの災害	熊本YMCA 2010	日本で大規模災害が起きた時に、日本語がわからない外国人など「情報弱者」とされる人々が遭遇する事態とは。災害シミュレーションゲーム「カタストロフォイ」を中心に、外国人を含むすべての人にとって暮らしやすい多文化共生のまちづくりを考えるワークショップ教材です。	冊子
012033	もっと話そう！平和を築くためにできること 「平和を築く学習キャンペーン」資料集 Talk for Peace!	開発教育協会(DEAR) 2003	平和を築き守るための「対話」を促すアクティビティ集。学校の授業で、市民のさまざまな集まりで、また家族の間などで、戦争の背景や原因を掘り下げながら平和について話し合い、私たち一人ひとりにできることを考えていく場づくりのヒントが多数紹介されています。「平和を築く学び」がさらに深まる図書案内も。	冊子
013027	もっと話そう！エネルギーと原発のこと 参加型で学び合うための16の方法	開発教育協会(DEAR) 2012	2011年3月の東日本大震災における原発事故を受けて作られた参加型学習教材。原発政策への賛否を問うのではなく、まずはエネルギーや原発とは何かを知り、「公正で持続可能な共生社会」のありかたや私たち一人ひとりの行動について考え、話し合い、学び合うことを目的とした16のアクティビティと5つの実践事例が収められています。	冊子
013509	開発教育・環境教育教材 日本と世界の水事情 水から広がる学び アクティビティ20	開発教育協会(DEAR) 2014	世界各地で起きている水問題を解決するためにできることを考えると同時に、自分たちの身の回りの水資源を持続可能かつ公正に利用していくための実践について学ぶ教材です。付属のCDには、アクティビティで使用する写真やイラスト、カードなど、78枚の画像データが収められています。	冊子、CD-ROM